



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月5日

上場会社名 ナラサキ産業株式会社  
 コード番号 8085 URL <http://www.narasaki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 克久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 毎原 吉紀  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 札

TEL 03-6732-7355

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	19,221	15.6	300	11.4	312	11.8	424	84.7
2020年3月期第1四半期	22,776	3.5	339	19.9	354	22.8	229	24.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 822百万円 (441.2%) 2020年3月期第1四半期 152百万円 ( 51.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	81.57	
2020年3月期第1四半期	43.34	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	44,984	16,697	36.2
2020年3月期	47,077	16,799	34.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 16,295百万円 2020年3月期 16,398百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		60.00	60.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	13.3	680	33.3	680	34.3	600	11.1	115.38
通期	90,000	8.8	2,100	11.0	2,100	13.5	1,500	5.9	288.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	5,325,600 株	2020年3月期	5,325,600 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	332,899 株	2020年3月期	12,499 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	5,200,334 株	2020年3月期1Q	5,299,034 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済・社会活動が大きく制限され、景気は急速に悪化しました。政府の緊急事態宣言は解除されたものの、個人消費の落ち込みや企業業績の悪化は避けられず、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が貨物輸送等に影響を及ぼす一方、半導体関連の設備投資や建設関連投資は順調に推移しました。

このような状況の中、当社グループでは、新型コロナウイルスへの感染リスクを軽減させるため、テレワークや時差出勤などの対策を講じながら事業活動を継続してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は192億21百万円（前年同期比15.6%減）、営業利益は3億円（前年同期比11.4%減）、経常利益は3億12百万円（前年同期比11.8%減）、特別利益に固定資産売却益3億8百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億24百万円（前年同期比84.7%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、各事業のセグメント利益又はセグメント損失の測定方法を変更しております。以下の前第1四半期連結累計期間との比較分析において、前第1四半期連結累計期間のセグメント利益又はセグメント損失は変更後の測定方法に基づいております。

## (電機関連事業)

電機関連事業では、建築設備関連において工事案件の遅延等が生じたものの、生産設備関連においてレーザ加工機の受渡しが伸長するなど、半導体関連が好調に推移しました。

以上の結果、売上高は63億16百万円（前年同期比16.5%増）、セグメント利益は2億24百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

## (機械関連事業)

機械関連事業では、農業施設分野においてはコロナ禍の影響が少なく順調に推移しましたが、産業機械分野において食品加工や製菓関連の設備投資が先送りされたことなどにより、低調な推移となりました。なお、売上高については、大型案件の受渡しがあった前第1四半期との比較により大幅な減収となっております。

以上の結果、売上高は12億43百万円（前年同期比61.5%減）、セグメント損失98百万円（前年同期はセグメント損失13百万円）となりました。

## (建材・燃料関連事業)

建材関連事業では、外壁工事が伸長したほか、橋梁資材や札幌再開発等での杭工事の受渡しが順調に推移しました。燃料関連事業では、コロナ禍における外出自粛要請によりSS（サービスステーション）でのガソリンの販売量が減少したものの、緊急事態宣言の解除後の需要は回復傾向にあり、また、船舶への海上給油が堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は72億39百万円（前年同期比20.0%減）、セグメント利益は1億30百万円（前年同期比905.3%増）となりました。

## (海運関連事業)

海運関連事業では、連結子会社のナラサキスタックス(株)において、コロナ禍の影響により国内の貨物量が大幅に減少し、特に鋼材・木材等建築関係貨物の取扱いが落ち込んだことなどにより、苦戦しました。

以上の結果、売上高は36億70百万円（前年同期比12.9%減）、セグメント利益は23百万円（前年同期比80.5%減）となりました。

## (建設機械関連事業)

建設機械関連事業では、首都圏等において道路関連機械の販売が順調に推移しました。

以上の結果、売上高は7億50百万円（前年同期比13.8%減）、セグメント利益は29百万円（前年同期比43.8%増）となりました。

なお、当社の連結業績は官公庁向け及び一般民需物件ともに第2四半期以降に売上が集中するため、四半期別の業績には季節的変動があり、第1四半期の利益は低水準になる傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は449億84百万円となり、前連結会計年度末に比べて20億93百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少8億89百万円、商品及び製品の減少2億78百万円、有形固定資産の減少7億47百万円であります。

負債は282億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億92百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少15億61百万円、未払法人税等の減少2億50百万円であります。

純資産は166億97百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億1百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.4ポイント増加し、36.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、本日(2020年8月5日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,445	9,870
受取手形及び売掛金	16,345	15,456
電子記録債権	3,016	3,304
商品及び製品	944	665
原材料及び貯蔵品	39	34
その他	1,646	1,419
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	32,427	30,741
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,337	4,605
その他(純額)	4,335	4,320
有形固定資産合計	9,672	8,925
無形固定資産	209	204
投資その他の資産		
その他	4,789	5,133
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	4,768	5,112
固定資産合計	14,650	14,242
資産合計	47,077	44,984

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,386	18,824
短期借入金	1,380	1,550
1年内返済予定の長期借入金	485	461
未払法人税等	336	86
賞与引当金	411	95
その他	1,766	1,733
流動負債合計	24,766	22,750
固定負債		
長期借入金	1,005	891
特別修繕引当金	61	70
退職給付に係る負債	1,295	1,342
その他	3,148	3,231
固定負債合計	5,511	5,535
負債合計	30,278	28,286
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,288	1,288
利益剰余金	12,307	12,412
自己株式	△12	△613
株主資本合計	15,937	15,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	452	848
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整累計額	7	4
その他の包括利益累計額合計	460	852
非支配株主持分	401	402
純資産合計	16,799	16,697
負債純資産合計	47,077	44,984

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	22,776	19,221
売上原価	20,515	17,019
売上総利益	2,261	2,201
販売費及び一般管理費	1,922	1,900
営業利益	339	300
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	33	33
受取賃貸料	15	6
その他	9	10
営業外収益合計	60	51
営業外費用		
支払利息	16	16
持分法による投資損失	5	3
固定資産賃貸費用	12	7
その他	10	10
営業外費用合計	44	39
経常利益	354	312
特別利益		
固定資産売却益	7	308
特別利益合計	7	308
特別損失		
固定資産処分損	—	0
投資有価証券評価損	—	15
特別損失合計	—	15
税金等調整前四半期純利益	362	605
法人税、住民税及び事業税	22	70
法人税等調整額	99	105
法人税等合計	121	176
四半期純利益	240	429
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	229	424



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	240	429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	396
繰延ヘッジ損益	△1	△0
退職給付に係る調整額	△15	△3
その他の包括利益合計	△88	393
四半期包括利益	152	822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142	816
非支配株主に係る四半期包括利益	9	6

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	5,421	3,226	9,045	4,212	870	22,776	—	22,776
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	118	0	—	119	△119	—
計	5,421	3,226	9,163	4,213	870	22,896	△119	22,776
セグメント利益又は セグメント損失(△)	199	△13	12	118	20	337	2	339

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△0百万円、セグメント間取引消去額2百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	6,316	1,243	7,239	3,670	750	19,221	—	19,221
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	77	1	76	154	△154	—
計	6,316	1,243	7,317	3,671	827	19,376	△154	19,221
セグメント利益又は セグメント損失(△)	224	△98	130	23	29	308	△8	300

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△5百万円、セグメント間取引消去額△3百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する情報

(セグメント利益又はセグメント損失の測定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に把握するため、従来、各セグメントに対応させていなかった全社費用の一部を、合理的な測定方法に基づき各セグメントに対応させております。

この変更に伴い、従来の方法に比べ、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ「電機関連事業」で14百万円、「建材・燃料関連事業」で6百万円、「建設機械関連事業」で1百万円減少し、セグメント損失が「機械関連事業」で5百万円増加しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。